

7年連続全国大会出場！
活汲小中学校が銀賞獲得



3月29日に東京江戸川区総合文化センターで行われた第30回全日本リコーダーコンテストで活汲小中学校が、小学生の部、中学生の部の合奏でそれぞれ銀賞を受賞したことを受け、4月1日に町長室で受賞報告会を行いました。報告に訪れた細川夏歩さん（現高校1年生）は「緊張よりも楽しんで演奏できました」。細川萌さん（現中学1年生）は「演奏することで精一杯でした。全国大会の舞台に立ててうれしかったです」と報告しました。佐藤多一町長は「これからも応援します。来年に向けてがんばってください」と激励の言葉を贈りました。



恩根・相生で町有林の枝打ちを体験しました

酪農業に新たな人材を！ 田舎で働き隊が津別で研修

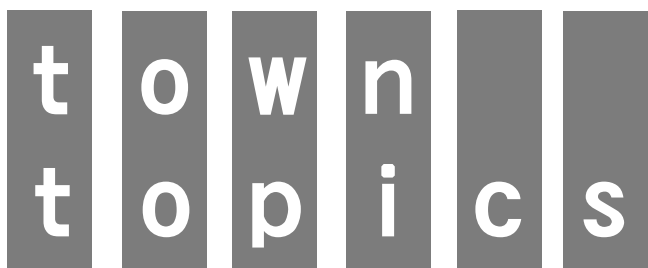
3月20日から3月29日までの10日間農村地域の人材を見出そうと「田舎で働き隊」事業が津別で行われました。3月26日には5人が枝払いを体験。既に数回経験していることもあり、慣れた手つきで枝打ちを行っていました。この研修に参加した松山さんは「まず津別の人々は優しくて楽しかったです。研修に関しては1週間しか農村体験が出来なかったのが1年の流れを知りたいです。機会があれば移住して第1次産業の振興に努めたいです」と話してくれました。また、研修に参加した女性は「第1次産業を通じて『食』に関する仕事に就きたいです」と話していました。



朝の搾乳作業や餌やりも行いました

今年もリサイクルプラザが開始！ リサイクルで資源を有効活用

ゴミの減量化と有効利用を図るため、各家庭で使用した食用油や古衣料の回収が4月18日から旧ケイニツト跡が始まりました。津別町環境衛生推進協議会が対応する中、廃食用油170リットル、古衣料165kgが集まりました。今年も回収は10月までの毎月第3土曜日に行われ、持ち込まれた方には廃食用油をリサイクルした手作り石鹸が無料で配られます。また、状態がよい再使用（リユース）品については秋のふれあい広場で販売されることとなっています。



まちのわだい

「メタボ」について正しい知識を知る 健康はつらつ講演会開催

3月27日、中央公民館で健康はつらつ講演会（津別町赤十字奉仕団、津別町自衛連共催）が行われ、参加した60人が「メタボ」について学びました。

まず、津別町の石崎佐枝子保健師が「メタボから始まる健康生活」と題して町が行っている検診への取り組み状況や現状の報告、メタボにならないための正しい食事方法などを紹介、説明しました。

続いて津別病院の東直樹副院長が「メタボリック症候群と成人病」をテーマに「メタボ」から大病を引き起こすメカニズムや、治療法等について講演されました。

最後に「メタボリックの予防を含めて検診に行くことは大切ですよ」と呼びかけていました。



4月8日、町民会館で津別町交通安全推進町民大会が開催されました。大会では、交通安全に関する標語コンクール優秀作品の表彰が行われ、鹿中千愛さん、松本真衣さんら10名の表彰が行われ、佐藤多一町長より表彰状と記念品が授けられました。6月に町内における事故死ゼロの日が、千日を迎えます。「交通事故死ゼロ日運動」の目標達成の確認と自治会連合会、自治会婦人部連絡協議会、老人クラブ連合会、建設業協会、地区運転者協会代表者の決意表明で誓いを新たにしました。最後に美幌警察署の相馬洋地域交通課長より6月1日施行の改正道路交通法の説明、安全講義が行われました。



交通事故死ゼロ日、千日達成を決意
交通安全の誓いを新たに

市街地区で春の道路一斉清掃 冬の汚れを一掃しました



4月19日に市街地の春の道路一斉清掃が行われました。（一部自治会は17日と18日に実施）この運動は、津別町自治会連合会が市街地の自治会に呼びかけ、住民の方や事業所の協力をいただき実施しているものです。

4年目を迎える今年も昨年と同じ1200人の協力をいただき、集まった土砂は6トン、ゴミは1.1トンとなりました。参加者からは「道路がきれいになり、経費も削減できるし、地域の人たちの顔が見れて連帯感も生まれる」との話がありました。

4月18日、春の火災予防運動にあわせて防火パレードが行われました。消防署前で行われた出発式では佐藤多一町長が「温暖化もあり乾燥する月が増えており、山火事が起きています。オーストラリアで起こった山火事では100人以上の方が亡くなっています。津別でも4月中旬に民家で火事がありました。火災警報器を取り付けていたことで、火災に気付いたという事例もありますので、火災警報器のPRもよろしおねがいします」と挨拶しました。パレードには総勢108人が約1時間火災予防を呼びかけていました。



「乾燥時期に気をつけて！」
園児らが火災予防を呼びかける

小さな子どもたちの安全を！ 建設産業団体から手旗を寄贈



4月3日、建設産業交通安全推進美幌支部（蓮井和一支部長代理）が、子ども達の交通安全に役立ててほしいと交通安全手旗150本の寄贈に教育委員会を訪ねました。4年前に津別建設業協会からいただいた交通安全手旗の劣化や紛失があることから今回の寄贈に至りました。この手旗は町内19カ所に設置されることとなり、阿部教育長は「子どもたちの交通安全のために寄贈いただきありがとうございます。これを機会に学校全体で交通安全に対する再確認も行っていきたい」とお礼を述べていました。